



こんにちは、岡田よしひでです

2023年3月19日発行
県議会活動報告ニュース
NO.161

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

県議会2月定例会

私は8日、農政、防災、統一協会問題について質問しました。

農政では、県の農業振興を図っていく上での重要なパートナーであるJA高知県の自己改革を受けて、県は農業振興をどう図るか、南国市での国営ほ場整備事業の促進、またAコープ等の閉鎖に伴い、住民の暮らしを守る対策を求めました。

避難場所・避難路の調査を

避難場所や避難路は、命を守るために日頃から点検、補修等が必要です。しかし、自主防災組織は高齢化しており、管理に困っているとところもあります。現状を調査する考えはないかお聞きします。



2月定例会質問（3月8日）

○危機管理部長 マンパワー不足などによりまして、倒木や土砂の堆積の処理など比較的規模の小さな復旧作業でも、地域では自主防災組織で対応していくことが難しくなっています。

市町村長からも県に対して支援の要望を頂いておりまして、現在、市町村とともにその対策について検討しているところ です。

現状は管理者である市町村が把握はされているというふうに認識しております。県としましては、適宜、その状況をお聞きしたり、調査もしたいというふうに考えています。

避難タワーがもっと必要では

十市の海岸線は、東坪池と阿戸の津波避難タワーの間、約2kmにわたって津波避難タワーがありません。近くに山があるから山に逃げるようにということですが、地域は高齢化しており、やはり人家の近くに津波避難タワーがあった方が、はるかに安全安心です。避難タワーがあれば医療支援も期待できます。

県は、十市のような地域に津波避難タワーが必要であるとの考えはあるのか、お聞きします。

○危機管理部長 市町村の津波避難計画の位置づけされていないものの、より近くでより安全に避難するために津波避難タワーの整備を求める地域があるということとは承知してございます。

津波から確実に避難するための対策につきましては、津波の避難訓練でありますとか、課題などを踏まえまして、市町村が地域の住民の方々と十分に話し合いますして、津波避難タワーの追加の整備も含めて判断するものというふうに考えております。

今後市町村からご相談がございましたら、いっしょに検討したいと考えております。

私はさらに、津波避難タワーに対する県の財政支援の継続を求めました。県は市町村から相談があった場合、支援について検討したいと答弁。

おむすび通信 (161)

私は、知事に統一協会の被害者救済を求めました。知事は、県立消費生活センターで法律相談を開催。県警察、法テラスなど専門機関としっかり情報交換しながら連携して対応を図ると答えました。